

有限会社 富貴茶園と新規就農者

～令和5年6月23日(金)訪問～ 【豊後高田市】



茶栽培・加工・販売を手掛ける有限会社富貴茶園は、平成17年より、耕作放棄地を活用した「おおいた型放牧」による肉用牛の子牛を生産する繁殖経営に取り組まれています。この経営が成功したことにより、豊後高田市の新規就農者育成のための研修制度「アグリチャレンジスクール」の品目に「放牧」が加わり、現在までに3夫妻と2名が研修を受けて、肉用牛繁殖経営を開始しています。

富貴茶園では、当時の県畜産試験場が牛を貸し出して草刈りをさせる「レンタカウ制度」を活用していましたが、ただ草刈りをさせるだけでなく、交配させてみたら面白いのではないかという発想から、耕作放棄地を活用した肉用繁殖牛経営を開始したそうです。

「アグリチャレンジスクール」で放牧を学ばれた新規就農者の皆さんは、県外から移住された方が多く、市に斡旋を受けた場所でそれぞれ放牧に取り組まれています。

通常、肉用繁殖牛のエサは飼料用稲や牧草などの粗飼料を自家生産や購入して与えますが、「おおいた型放牧」では、ほとんどが放牧地の牧草で賄えるので経費が大幅に縮減できます。ただし、まとまった土地(1haあたり2頭)が必要であることや、条件の悪い耕作放棄地では整備に費用や手間がかかるといった課題もお聞きしました。

その他、子牛価格の低迷による経営の厳しい実態や今後の展望についても意見を交換し、最後に、皆さんの事業が安定的に実施できるよう、県も一緒に頑張っていくことをお伝えしました。

対話風景



関連する県の施策

☆事業名:【新】自給飼料基盤活用推進事業

事業概要: 放牧経営の新規参入や規模拡大に取り組む事業者に対し支援

(補助率 1/2:県1/3、市町1/6)

- ・遊休農地等(山林を含む)を活用した放牧地整備経費を補助
- ・個人の農業者も対象とする(国庫補助要件である「3戸」を要件としない)

予算額:2,104万円

※【新】は令和6年度からの新規事業

〈「おおいた型放牧」について〉

大分県では、農家生活の身近にありながら、地理的条件や人的要因などによって利用性が低い土地を取り込み、生産基盤として有効活用する放牧形態を「おおいた型放牧」として推進しています。

畜産農家にとっては低コスト・省力的な畜産経営、助成制度の活用、中山間地域にとっては耕作放棄地対策、獣害対策、景観の向上、助成制度の活用、地域の活性化など、多様な効果があります。

